

「洲本市の地域創生」に関するアンケート調査結果（まとめ）

主な項目	比較的、回答比率の高かった内容	備考
中学生・高校生（2,647人/2,775人：有効回収率 95.4%）		
今後の進学・就職	「洲本市を出て進学・就職したい」が50.4%	
洲本市を出て、進学・就職したい人の目的地	「神戸市」が41.6%、「その他 兵庫県外」が39.9%、「その他 兵庫県外」では、大阪府が166人で最も多く、次に東京都が70人	大都市をめざす中学生・高校生が多い
市外に出て、進学・就職したい理由	「洲本市には、就職先が少ないから」が27.1%、「自立したいから」が19.5%	
将来的な洲本市での居住	「これからもずっと洲本市に住み続けたい」が13.9%、「将来、進学・就職などで洲本市を離れると思うが、いつかは戻って住みたい」が38.2%で合わせると52.1%	
洲本市に戻りたくない・離れたい理由	「交通や買い物など、いろいろな面でもっと便利なところに住みたいから」が35.6%、「洲本市にはない、いろいろな職業の中から自分が進む道を選びたいから」が34.6%	
将来の職業	「わからない（まだ決めていない）」が22.9%	
洲本市の住みやすさ	「住みやすい」が37.1%、「どちらかというに住みやすい」が20.8%で合わせると57.9%	肯定的評価が高い
洲本市への愛着	「大好き」が28.4%、「どちらかといえば好き」が38.5%で合わせると66.9%	肯定的評価が高い
洲本市の魅力	「自然環境」が65.4%で最も多く、次いで「人柄、人情、地域との強いつながり、コミュニティのよさ」が26.5%	
望ましい洲本市の将来像	「自然に囲まれ、景観の美しいまち」が52.7%で最も多く、次いで「働く場所も多く、さまざまな商店がそろったにぎわいのあるまち」が50.2%	
一般（677人/2,000人：有効回収率 33.9%）		
住所歴	「生まれてからずっと洲本市に住んでいる」が35.5%、「いったん市外へ転出後、帰ってきた」が25.6%	
転入の理由	「進学・通勤・就学のため」が41.1%、「結婚のため」が32.4%	
洲本市の住みやすさ	「住みやすい」「どちらかと言えば住みやすい」が61.0%、「住みにくい」「どちらかと言えば住みにくい」が11.4%	肯定的評価が高い
洲本市での住居志向	「これからも洲本市に住み続けたい」が52.6%	半数以上が継続志向
引っ越したい理由	「生活するのに不便」が45.1%、「仕事の関係」が27.7%	
洲本市の魅力	「公園や自然環境」が37.5%、「人柄、人情、地域との強いつながり、コミュニティのよさ」が25.4%	中学生・高校生も同じ傾向
行政が取り組むべき人口減少対策	「産業振興、雇用拡大、経済活性化」が34.1%、「子育て支援等」が28.1%	
結婚していない理由	「若すぎる」が27.5%、「結婚したいと思える相手がいない」が24.6%	若すぎると回答した人は、29歳以下
結婚に関する希望	「結婚の予定はないが、結婚したい」が50.0%	半数が結婚を希望
行政が取り組むべき結婚支援策	「安定した雇用の支援」が74.4%、「若い夫婦への住まいの支援」が42.8%	まずは雇用支援を
子どもの数	「現在0人」が36.3%、「2人」が32.2%、「理想が2人」が42.5%	
理想の子どもを持つための問題点	「子育てや教育にお金がかかりすぎる」が55.4%、「子どもを預ける施設が整っていない」と「年齢的な問題」が17.7%	
行政が取り組むべき出産・育児に関するサービス	「幼稚園・保育所・認定こども園などの施設の拡充」が49.2%、「各種助成をはじめとする金銭的なサポートや現物給付」が46.2%	
就業地	「市内」が43.3%、「働いていない」が36.6%、「市外」が17.4%	
働いていない理由	「(退職して)年金で生活している」が31.0%、「学生」が27.4%	
地域経済の活性化のために力を入れるべき取り組み	「子育てと仕事が両立できる環境づくり」が56.9%、「企業誘致、起業しやすい環境の整備などによる新規産業の創出」が49.6%	
今後の進学や就職（学生限定）	「市を出て進学・就職したい」が40.3%、「市内に住みながら進学・就職したい」が19.4%	
市外で進学・就職したい理由	「洲本市には、就職の受け入れ先が少ないから」と「自立したいから」が48.3%	中学生・高校生も同じ傾向
将来的に市外で進学・就職した後の洲本市への帰市希望	「いったんは洲本市以外で働き、一定の時期（例えば定年）がきたら戻る（戻りたい）」が37.9%、「戻る気はまったくない」が17.2%	